

動物実験に関する自己点検・評価報告書

西南女学院大学

平成 28 年 6 月

I. 規程及び体制等の整備状況

1. 機関内規程

<p>1) 評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する機関内規程が定められている。 <input type="checkbox"/> 機関内規程は定められているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 機関内規程が定められていない。
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>動物実験規程 動物実験規程細則</p>
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）</p> <p>機関内規程が適正に定められている。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>該当なし。</p>

2. 動物実験委員会

<p>1) 評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する動物実験委員会が置かれている。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会は置かれているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会は置かれていない。
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>動物実験委員会規程 動物実験委員名簿</p>
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）</p> <p>動物実験委員会が適正に設置されている。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>該当なし。</p>

3. 動物実験の実施体制

<p>1) 評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、動物実験の実施体制が定められている。 <input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制が定められていない。
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>動物実験規程</p> <p>動物実験規程細則</p> <p>動物実験に係る緊急時への備えと対応</p> <p>様式第 1 号 動物実験計画書</p> <p>様式第 2 号 動物実験記録</p> <p>様式第 3 号 動物実験変更申請書</p> <p>様式第 4 号 動物実験（終了・中止）報告書</p> <p>実験動物管理記録</p>
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）</p> <p>学内規程等により、動物実験計画の立案、審査、承認、結果報告を適正に実施する体制が整っている。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>該当なし。</p>

4. 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制

<p>1) 評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 基本指針に適合し、安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められている。 <input type="checkbox"/> 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められていない。 <input checked="" type="checkbox"/> 該当する動物実験は、行われていない。
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>安全管理を要する動物実験の取扱いについて（学長決定）</p>
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）</p> <p>該当なし。</p>

4) 改善の方針、達成予定時期

該当なし。

5. 実験動物の飼養保管の体制

1) 評価結果

- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

動物実験規程
動物実験規程細則
動物実験に係る緊急時への備えと対応
様式第 2 号 動物実験記録
実験動物管理記録
動物実験委員会による動物実験施設の視察（記録）

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）

動物実験委員会による動物実験施設等の視察を行っている。視察では、実験動物の保管状況の確認を行い、改善を要する点を指摘した。

4) 改善の方針、達成予定時期

該当なし。

6. その他（動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果）

該当なし。

II. 実施状況

1. 動物実験委員会

1) 評価結果 ■ 基本指針に適合し、適正に機能している。 □ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 □ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 動物実験委員会議事録 点検評価改善報告書 委員会別業務評価（動物実験委員会）
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 動物実験規程、動物実験規程細則及び動物実験委員会規程に基づき、適正な活動を実施している。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当なし。

2. 動物実験の実施状況

1) 評価結果 ■ 基本指針に適合し、適正に動物実験が実施されている。 □ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 □ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 様式第 1 号 動物実験計画書 様式第 2 号 動物実験記録 様式第 4 号 動物実験（終了・中止）報告書 実験動物管理記録
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 動物実験計画書の立案、審査、承認、実験及び結果報告が適正に実施されている。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当なし。

3. 安全管理を要する動物実験の実施状況

<p>1) 評価結果</p> <p><input type="checkbox"/> 基本指針に適合し、当該実験が適正に実施されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 該当する動物実験は、行われていない。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>安全管理を要する動物実験の取扱いについて (学長決定)</p>
<p>3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。)</p> <p>該当なし。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>該当なし。</p>

4. 実験動物の飼養保管状況

<p>1) 評価結果</p> <p><input type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>動物実験規程</p> <p>動物実験規程細則</p> <p>動物実験に係る緊急時への備えと対応</p> <p>様式第 2 号 動物実験記録</p> <p>実験動物管理記録</p> <p>動物実験委員会による動物実験施設の視察 (記録)</p> <p>根拠資料 C (様式 2-2) 実験動物飼養保管状況の自己点検票</p>
<p>3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。)</p> <p>2016 年 1 月 12 日の動物実験委員会による動物実験施設等の視察において、実験動物の保管状況の確認を行い、「柵とケージの固定を要する」と指摘された。</p> <p>2016 年 1 月 15 日に実施された実験動物管理者による点検において、飼育保管や廃棄物処理の</p>

方法、逸走時や緊急時の対応、その他の使用保管施設での作業手順等を記載したマニュアル等を用意していないことが報告された。

4) 改善の方針、達成予定時期

次回の実験動物飼養開始までに、柵とケージを固定するための工事及びマニュアル等の整備を行う予定である。

5. 施設等の維持管理の状況

1) 評価結果

- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に維持管理されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

動物実験規程

動物実験規程細則

動物実験に係る緊急時への備えと対応

動物実験委員会による動物実験施設の視察（記録）

根拠資料 C（様式 2-2）実験動物飼養保管状況の自己点検票

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）

2016 年 1 月 12 日の動物実験委員会による動物実験施設等の視察において、実験動物の保管状況の確認を行い、「柵とケージの固定を要する」と指摘された。

2016 年 1 月 15 日に実施された実験動物管理者による点検において、動物の逸走に備えた捕獲器具を備えていないことが確認された。

4) 改善の方針、達成予定時期

次回の実験動物飼養開始までに、柵とケージを固定するための工事及び捕獲網等の購入を行う予定である。

6. 教育訓練の実施状況

1) 評価結果

- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

<p>動物実験規程 動物実験規程細則 根拠資料 A-11) 動物実験に関する教育訓練の実施記録【2015 年度】</p>
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 動物実験委員会委員の尾上副委員長が、2015 年 6 月 13 日及び 10 月 10 日開催の公私立大学実験動物施設協議会において、それぞれ、「実験動物管理者のための教育訓練」及び「適正な動物実験と飼育保管に向けた教育訓練」の研修を受講した。 学内においては、「動物実験に関する外部検証について」の研修を行い、併せて上記研修会の報告も適宜行われた。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期 引き続き、動物実験委員会委員及び動物実験実施者を対象とした学内教育訓練を実施する。</p>

7. 自己点検・評価、情報公開

<p>1) 評価結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料 公式ウェブサイトの「研究倫理 動物を対象とする研究倫理」ページ及び「点検評価改善報告」ページ。</p>
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 適正に自己点検・評価及び情報公開を行っている。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期 該当なし。</p>

8. その他

（動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果）

<p>該当なし。</p>

2016 年 7 月 14 日

動物実験の自己点検票

動物実験責任者	氏名： 清末達人	所属： 栄養学科
実験計画承認番号	2015-1	
研究課題	ラット消化管摘出標本を用いた糖の消化・吸収実習	

点検項目		点検結果	備考
1	実験は計画書に記載した場所で実施したか？	<input checked="" type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No	
2	げっ歯類以外の動物の大規模存命手術（開胸術、開腹術、開頭術など）は専用の手術室で実施したか？	<input type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No <input checked="" type="checkbox"/> 該当せず	
3	げっ歯類以外の動物の大規模存命手術（開胸術、開腹術、開頭術など）は無菌的に実施したか？	<input type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No <input checked="" type="checkbox"/> 該当せず	
4	侵襲性の高い大規模存命手術（開胸術、開腹術、開頭術など）は十分な知識と経験を有する者、あるいはその指導下で実施したか？	<input type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No <input checked="" type="checkbox"/> 該当せず	
5	麻酔および鎮痛処置を実施したか？	<input checked="" type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No	鎮痛、麻酔薬名： ウレタンCarbamic acid ethyl ester
6	存命手術において、術後観察および必要に応じた術後管理（術野消毒、術後鎮痛、補液、抗生剤投与、保温など）を実施したか？	<input type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No <input checked="" type="checkbox"/> 該当せず	
7	苦痛度が高い実験において、人道的エンドポイントに沿った安楽死を実施したか？	<input type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No <input checked="" type="checkbox"/> 該当せず	
8	計画書に記載した安楽死法を採用したか？	<input checked="" type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No	安楽死法：麻酔下での出血死
9	実験目的以外の動物の傷害や疾病が発生した場合、適正な治療、措置（安楽死も含む）を実施したか？	<input type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No <input checked="" type="checkbox"/> 該当せず	
10	動物実験に際して、動物に起因する人の傷害や疾病（アレルギーを含む）の罹患はあったか？	<input type="checkbox"/> Yes <input checked="" type="checkbox"/> No	傷害、疾病名：

- 各項目で No をチェックした場合は、備考欄に理由を記入すること
- 項目5, 8, 10でYesをチェックした場合は、備考欄に具体的な名称等を記入すること

2016 年 7 月 14 日

動物実験の自己点検票

動物実験責任者	氏名： 清末達人	所属： 栄養学科
実験計画承認番号	2015-2	
研究課題	ラットの解剖	

点検項目		点検結果	備考
1	実験は計画書に記載した場所で実施したか？	<input checked="" type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No	
2	げっ歯類以外の動物の大規模存命手術（開胸術、開腹術、開頭術など）は専用の手術室で実施したか？	<input type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No <input checked="" type="checkbox"/> 該当せず	
3	げっ歯類以外の動物の大規模存命手術（開胸術、開腹術、開頭術など）は無菌的に実施したか？	<input type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No <input checked="" type="checkbox"/> 該当せず	
4	侵襲性の高い大規模存命手術（開胸術、開腹術、開頭術など）は十分な知識と経験を有する者、あるいはその指導下で実施したか？	<input type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No <input checked="" type="checkbox"/> 該当せず	
5	麻酔および鎮痛処置を実施したか？	<input checked="" type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No	鎮痛、麻酔薬名： ウレタンCarbamic acid ethyl ester
6	存命手術において、術後観察および必要に応じた術後管理（術野消毒、術後鎮痛、補液、抗生剤投与、保温など）を実施したか？	<input type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No <input checked="" type="checkbox"/> 該当せず	
7	苦痛度が高い実験において、人道的エンドポイントに沿った安楽死を実施したか？	<input type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No <input checked="" type="checkbox"/> 該当せず	
8	計画書に記載した安楽死法を採用したか？	<input checked="" type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No	安楽死法：麻酔下 での出血死
9	実験目的以外の動物の傷害や疾病が発生した場合、適正な治療、措置（安楽死も含む）を実施したか？	<input type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No <input checked="" type="checkbox"/> 該当せず	
10	動物実験に際して、動物に起因する人の傷害や疾病（アレルギーを含む）の罹患はあったか？	<input type="checkbox"/> Yes <input checked="" type="checkbox"/> No	傷害、疾病名：

- 各項目で No をチェックした場合は、備考欄に理由を記入すること
- 項目5, 8, 10でYesをチェックした場合は、備考欄に具体的な名称等を記入すること

実験動物飼養保管状況の自己点検票

飼養保管施設の名称	西南女学院大学 保健福祉学部附属保健福祉学研究所 動物飼育室
管理者氏名（部局の長）	谷川 弘治
実験動物管理者氏名	清末 達人
飼養者（人数）	1 名
飼養保管動物種および数	動物種： ラット 飼養数 ^{※1} ：6匹
点検実施日および実施者	実施日： 2016年1月15日 実施者 ^{※2} ：清末 達人

※1 飼養数は点検実施日の数とする。

※2 点検実施者は、原則として実験動物管理者となる。

点検項目		点検結果	備考
飼養保管の方法	適切な給餌・給水が実施されているか？	<input checked="" type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No	
	生理、生態、習性等に応じ、必要な健康の管理がなされているか？	<input checked="" type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No	
	種類、習性等を考慮した飼養又は保管を行うための環境の確保はされているか？	<input checked="" type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No	
	実験目的以外の傷害や疾病の発生予防措置、発生時の治療等が実施されているか？	<input checked="" type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No	
	動物の導入時に検疫、隔離飼育等を実施しているか？	<input type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No <input checked="" type="checkbox"/> 該当せず	
	飼育環境への順化、順応を図っているか？	<input type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No	
	異種動物の同一飼育室での飼育、複数個体の同一ケージでの飼育の際、組合せに配慮しているか？	<input checked="" type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/> 該当せず	雄雌を分け、別々のケージにて飼育
施設の構造等	飼育ケージは、動物が自然な姿勢で日常的な動作を行える大きさを有するか？	<input checked="" type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No	
	飼育室の温度、湿度、換気、照度は、動物に過度のストレスがかからない範囲にあるか？	<input checked="" type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No	エアコン、換気扇を設置し、タイマーにて照明のオンオフを行っている
	飼育室、飼育装置の等の床、内壁、	<input checked="" type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No	

	天井は清掃や衛生状態の維持が容易な構造を有しているか？		
	突起物、穴、くぼみ、斜面等で動物が傷害を受けるおそれはないか？	<input checked="" type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No	
教育訓練	飼養保管の方法、廃棄物処理の方法、逸走時や緊急時の対応、その他の飼養保管施設での具体的な作業手順等を記載したマニュアル等が整備されているか？	<input type="checkbox"/> Yes <input checked="" type="checkbox"/> No	飼養者は、動物管理者1名のみであるため、特にマニュアル等は用意していない。
	マニュアル等による動物実験従事者や飼養者への教育を実施しているか？	<input type="checkbox"/> Yes <input checked="" type="checkbox"/> No	飼養者は、動物管理者1名のみであり、特にマニュアル等は用意していない。
生活環境の保全	動物死体および汚物の保管、処理は適切に行われているか？	<input checked="" type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No	
	施設は常に清潔に保たれているか？	<input checked="" type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No	
	悪臭、騒音、害虫等の発生により、施設周辺からの苦情はないか？	<input checked="" type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No	
危害等の防止	飼育室や飼育装置は、動物が逸走しない構造及び強度を有しているか？	<input checked="" type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No	
	関係者に、実験動物に由来する微生物感染、アレルギー、怪我に対する防護措置（隔離飼育装置の設置、マスク、グローブ、ゴーグル等の着用等）を採っているか？	<input checked="" type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No	防護措置：飼養者は、マスク及びグローブを着用。
	動物の数及び状態の確認のため、日常的な管理、点検、巡回等を実施しているか？	<input checked="" type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No	
	動物による危害防止に必要な情報（動物の取り扱いや実験に伴う病原体や有害化学物質等に関する情報）の保有が共有されているか？	<input type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No <input checked="" type="checkbox"/> 該当せず	
	実験に無関係な者の立入制限をしているか？	<input type="checkbox"/> Yes <input checked="" type="checkbox"/> No	施錠などにより部外者の立ち入りを制限する方向で検討する。

	有毒動物（毒ヘビ等）を飼養保管する場合、抗毒素血清等の救急医薬品の準備はあるか？ また、医師による救急措置が行えるか？	<input type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No <input checked="" type="checkbox"/> 該当せず	
	動物の逸走に備えた捕獲器具は備えられているか？	<input type="checkbox"/> Yes <input checked="" type="checkbox"/> No	動物飼育室以外への逸走を想定していなかったため、捕獲器具は備えていない。購入を検討する。
	人に危害を及ぼすおそれや環境保全上の問題のある実験動物（特定動物、特定外来生物、遺伝子組換え動物等）が施設外へ逸走した場合の連絡先は明確か？	<input type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No <input checked="" type="checkbox"/> 該当せず	連絡先：
	地震や火災発生時の緊急対応措置の計画が整備されているか？	<input checked="" type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No	連絡先：「西南女学院大学 動物実験に係る緊急時の備えと対応」に記載。
	人と動物の共通感染症に関する知識の習得、情報の収集はされているか？	<input checked="" type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No	
	人と動物の共通感染症が発生した場合の学内連絡先は明確か？	<input checked="" type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No	連絡先：「西南女学院大学 動物実験に係る緊急時の備えと対応」に記載。
記録管理	実験動物の入手先、飼育履歴、病歴等に関する記録台帳等が整備されているか？	<input checked="" type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No	
	人に危害を及ぼすおそれのある実験動物（特定動物、危険な特定外来生物等）には、個体識別措置が講じられているか？	<input type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No <input checked="" type="checkbox"/> 該当せず	個体識別法：
輸送	動物の輸送に際し、動物の健康及び安全、人への危害防止の点で問題は生じていないか？	<input type="checkbox"/> Yes <input checked="" type="checkbox"/> No	問題は生じていない。

点検結果で、No のチェックした場合には、備考欄にその理由を記入すること

備考欄の具体的事項も記入すること

点検は動物を飼育している状態で行うことを前提とするが、点検時に動物が飼育されていない場合は、飼育時を顧みて点検を行うこと